

アントレプレナーシップ入門

—CASEの補足資料—

第13章 成長することの楽しさ、難しさを知ろう

CASE ●アップル:スティーブ・ジョブズの栄光と挫折

1 アップル社の現状

アップル社はNASDAQに上場しているので各種の会社情報はIRサイトから入手できる。業績や最新の話題などを見ることができる。

<http://investor.apple.com/>

2 スティーブ・ジョブズについて

第13章ではアップルという会社よりはスティーブ・ジョブズというアントレプレナー個人に焦点を当てている。残念ながら彼は2011年10月5日に56歳で死去しているが、多くの情報が残っている。

教科書211頁にも記載した、2005年にスタンフォード大学の卒業式で行ったスピーチは必ず見てほしい。アントレプレナーシップの本質がわかるだろう。

<https://youtu.be/RWsFs6yTiGQ>

またDVDでも彼の人となりが見られる。

■「スティーブ・ジョブズ」アッシュトン・カッチャー（出演）／ジョシュア・マイケル・スターン（監督），ポニーキャニオン

書籍も多くのもがある。教科書196頁のさらに学習する人のための文献に挙げたものが、最も生き様がよくわかる。

■W. アイザックソン（井口耕二訳）『スティーブ・ジョブズ』講談社，2011年

また最近の書籍ではアップルを追われてから創業したピクサーでのいきさつを書いたものをお勧めする。第13章のテーマである「成長することの楽しさ、難しさを知ろう」という趣旨にぴったりのものである。

■エド・キャットムル, エイミー・ワラス著 (石原薫訳) 『ピクサー流 想像する力』ダイヤモンド社, 2014年

※著作権は著者に帰属します。

※私的使用および, 大学等の講義・ゼミ等の教育目的に限って使用できます。